



ゆかたちあき

心療内科医のひとこと

中野弘一 医師

30歳の神経質そうな細身の男性が心療内科に紹介状を持って来院した。原因不明で急に汗をかくことが主な訴えである。汗はいつもかくわけではなく、突然冷や汗のような感じの汗をかくようになった。汗が出る時は動悸を感じたこともあり、また緊張した時のように手足が冷たくなることもあるという。大学生のころから症状はあつ

たようだが、そのまま放置していた。数カ月

められなかった。彼の症状は自律神経が緊張の時に優位となる交感神経の刺激症状が主なので、血糖が低くなりすぎる症状かもしれないと私は考えた。血液の中のブドウ

である。糖尿病の診断を確認するために糖負荷試験を追加して受けてもらうことにした。食後の血糖の上がりやインスリンの分泌過多を調べるためである。その後の診察で一緒に

は結果の説明をしながら、彼の訴えを聞いてみると、検査の後、ひどくおなかを空かせてまい、かつ丼を食べたがまだ空腹でカレーライスも注文し食べたが、さすがに途中で食

応が遅延するので分かりにくかったが、食後かなりの時間がたつてから血糖値が下がる病態であることが分かった。

血糖値が下がりすぎる

前から気が遠くなるような感じと、週に何度

も汗の発作が続き、病

糖は身体のエネルギー源であるので、インスリンという血糖を下げ

結果を確認したが、検査結果は低血糖を思わせる耐糖能の異常は認められなかった。

べ残してしまった、と教えてくれた。もしやと思っても一度糖負荷試験を行って

神経質のせいではなく、身体の働きのバランスが崩れたための症状であった。対処は食事を一度にたくさん取らないことや、食べる食品の質や種類を工夫

汗が出る時は動悸を感じたこともあり、また緊張した時のように手足が冷たくなること

気かもしれないと思つて受診したようだ。前の病院で血液と尿の検査を受けていたが、特に血糖などの異常も認

るホルモンを中心に多くの装置によって厳密にコントロールされている。高すぎても低すぎても身体には不都合

が、心理的なことだけで今回の症状は起きて

もらい、今度は5時間後まで測定した。すると5時間後の血糖は低い値を示していた。反

せそうな病態が見つかり本当に良かった。(三愛病院心療内科医師・東邦大学医学部教授)

もあるという。大学生のころから症状はあつ

て受診したようだ。前の病院で血液と尿の検査を受けていたが、特に血糖などの異常も認

めても身体には不都合

が、心理的なことだけで今回の症状は起きて

もらい、今度は5時間後まで測定した。すると5時間後の血糖は低い値を示していた。反

せそうな病態が見つかり本当に良かった。(三愛病院心療内科医師・東邦大学医学部教授)